

第 54 期 滋賀地方最低賃金審議会

令和 2 年度第 2 回滋賀県窯業・土石製品製造業最低賃金専門部会議事要旨

開催日時	令和 2 年 10 月 12 日（月） 午前 9 時 29 分～午前 11 時 50 分
開催場所	コラボしが 21 中会議室 1
出席状況	公益代表委員（定数 3 人） 石井利江子 佐野洋史 中 睦 労働者代表委員（定数 3 人） 相澤三千代 旭 光輝 津田真志 使用者代表委員（定数 3 人） 枝國聡司 中村 淳 西田保夫 事務局 4 人 足立労働基準部長、綿貫賃金室長、 辰巳室長補佐、唐牛賃金指導官
主要議題	滋賀県窯業・土石製品製造業最低賃金の改正決定について
議事要旨	<p>労側委員からは、日銀短観で業況 D I は 1 年 3 か月ぶりの改善で、底打ちしており、設備投資は低調であるが、公共工事や住宅需要が改善し、自動車販売の回復により部材の生産が増加、鉱工業生産指数の窯業・土石の数値も回復してきているとして、連合滋賀の今春闘の 300 人未満の賃上げ率、リーマンショックの影響時の賃上げ率を元に大幅に引き上げるべきと提示があった。</p> <p>これに対して、使側委員からは、日銀短観の規模別にみると中堅企業は 3 ポイント減で、中小企業は 0 となっており、鉱工業指数は、窯業・土石の数値は回復したといっても低い数値である、県内企業の今年度の第 1 四半期の決算はすべて減収減益であるとして 1 円の提示だった。</p> <p>部会長から、次回が最終の部会となるので結審に向けて協力依頼がなされた。</p>